

## 「ページをめくる」ということ

薬学部 医療薬学科 山崎 研

電車を使って通勤（片道20分ほど）しています。電車の中では本を読んでいます。あまり熱中すると、「次は成東です」の車内アナウンスを聞いて後悔する事態になります。文庫本は持ち歩くのに便利なので文庫本を購入することが多いのですが、近ごろこの文庫本の値段がとても高いのです。1冊800～900円は当たり前（下手すると1000円！！）になっています。仕方がないので古本屋に出回るのを待ちます。電子書籍にすればいいのでは？と思う方もおられるでしょう。確かに、電子書籍にすれば価格も安い（といっても100円程度の違い？）うえにタブレット等にたくさんの本が収載できるので場所もとらないといった利点があります。おまけに拡大ができるのでとても見やすいようですね。小さな文字が見えにくくなっているのも、こういった点でも魅力的です。

スタヴァンゲル大学（ノルウェー）のMangen 博士の研究を紹介します<sup>1)</sup>。50名の被験者の半数に電子書籍で、もう半数には紙の本で28ページほどのミステリー小説を読んでもらい、そのあとで物語の中に出てくる物品や人物、物語の設定などについてどれだけ正確に覚えているかについてテストを行いました。物語の設定や登場人物に関しては、電子書籍で読む場合と紙の本で読む場合とで記憶の程度に大きな違いは見られませんでした。しかし、物語の中で起きた出来事の順序をどれだけ正確に覚えているかということについては、電子書籍で読んだ読者の方が紙の本で読んだ読者よりも成績が悪かったのです。これについてMangen博士は、紙の本だとページをめくるという触覚によるフィードバックが、物語を頭の中で再構成する手助けになっているのに対し、電子書籍で読む場合には同じようにはいかないのではないかと考察しています。

学生はデジタル化された教科書や講義資料を基に学習することが多くなっていますが、どこに何の情報があったか探し出せない人を見かけます。資料に教科書のページが記載してあっても、その部分だけを見て終わってしまうのでは前後のつながりが理解できないように思ってしまう。紙が発明されてから二千年、印刷技術の向上で本が普及してから数百年、人間は本を読みページをめくることで知識の習得をしてきました。脳はそれに慣れていないのではないかと思ったりもします。いやいや、デジタルネイティブはそんなことはないのかもしれないね。ページをめくりながら、付箋を貼って大事なところにマーカーで線を引いて、なんてのは今どき流行らない。全ては画面の上で完結できる時代です。ページをめくるという言葉が死語になる時がくるのでしょうか。

1) Mangen A, Olivier G, Velay JL., Comparing Comprehension of a Long Text Read in Print Book and on Kindle: Where in the Text and When in the Story? *Frontiers in Psychology* 10 (2019) Feb 15



## 展示「本屋大賞2026」「新書大賞」

図書館では、「本屋大賞2026」および「新書大賞」の展示を開催しています。

本屋大賞は『イン・ザ・メガチャーチ』朝井リョウ（日経BP日本経済新聞出版）が大賞に決定し、ノミネート作品も展示中です。貸出中の図書は予約をおすすめします。

あわせて、「新書大賞2026」および「大学生が選ぶ中公新書大賞2026」の受賞作も展示しています。読書や勉強のきっかけに、受賞作品を手にとってみませんか。



## ラーニング・コモンズ 特別講座

### デジタルで再現する 「幸せな長寿地域（ブルーゾーン）」の魔法 テクノロジーを愛の道具にせよ

4月23日(木)メディア学部 大江 宏子先生、健康科学部 森下 恵美先生を講師にお迎えし、開催いたしました。当日は、対面・オンライン合わせて37名の方にご参加いただき、新たな気づきや学びが深まる機会となりました。



## 電子図書館「LibrariE（ライブラリエ）」 ログイン方法変更のお知らせ

LibrariEのログイン方法が、4月6日より変更となりました。トップページ左の「学認はこちら」から、統合認証システムのユーザー名・パスワードでログインしてください。

LibrariEは、スマートフォン・タブレット・PCから「いつでも」「どこでも」利用できる電子図書館サービスです。

本学の学生・専任教職員が利用可能ですので、ぜひご利用ください。

## 学生選書委員募集中

読みたい本がある、本が好き、図書室の活動に興味がある！そんな方は「学生選書委員」をやってみませんか？学生の目線で図書室の本を選び、自分の選んだ本が並ぶ楽しさも魅力です。新しい本との出会いや、図書室との関わりが広がる機会にもなります。ぜひお気軽にご応募ください。



↑ 募集ポスター掲示中



## 図書館コラム：新書と文庫のちがい、知っていますか？

「新書と文庫って何がちがうのですか？」という質問をよくいただきます。どちらも手に取りやすいサイズの本ですが、内容や特徴に違いがあります。

まず「新書」は、社会問題や歴史、科学などをテーマに、専門的な内容をわかりやすく解説した本が中心です。比較的新しく執筆されることが多く、旬の話題に触れられるのが特徴です。短時間で知識を得られるため、入門書としてもおすすめです。

一方「文庫」は、小説やエッセイなどの読み物が多く、単行本として出版された作品をコンパクトなサイズで再出版したものが中心です。長く読み継がれてきた作品に出会えるのも文庫ならではの魅力です。

新書・文庫はいずれも軽く持ち運びしやすく、通学やちょっとした空き時間にも気軽に読める点が共通しています。「新しく知識を得たいときは新書」「物語を楽しみたいときは文庫」といったように、目的に合わせて選ぶことで、読書の楽しみ方がさらに広がります。ぜひ手に取ってみてください。

### ◆開館カレンダー◆

平日 9:00-20:00

土曜日 9:00-17:00

休館

5月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

6月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

X



Instagram



WEB



東金図書館閉館後はネットラウンジをご利用ください（21:00まで開放）。

※休館・開館時間は変更することがあります。詳細はホームページ、Xでご確認ください。